

# IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 ～あなたのお家は大丈夫～

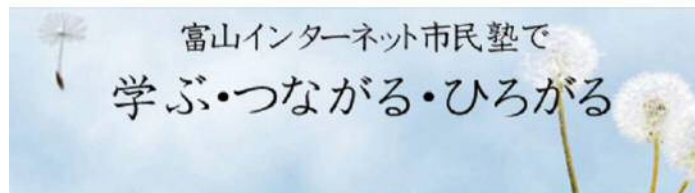
## 富山インターネット市民塾

理事長 山西潤一(富山大学名誉教授)  
佐藤 宏隆(市民塾講師、富山大学研究協力員)

富山インターネット市民塾の活動は  
自らの経験や知識・技術を誰かに伝えたい  
Teaching is best learning で生きがい創出

### 富山インターネット市民塾

[インターネット市民塾とは](#) [お知らせ](#) [講座を探す](#) [参加方法](#) [市民講座になろう](#) [よくある疑問](#) [お問い合わせ](#)



インターネット市民塾とは、市民がインターネットを上手に活用し自ら作った講座を開催する、いうなればネットを生かした「知のフリーマーケット」です。様々な集まりの中で、新たなきずなによって元気な地域活動も生まれています。



[新規登録](#)  
はじめての方はこちら

[ログイン](#)  
既会員登録の方はこちら

[お問い合わせ](#)

**事業の目的：**IoT・AI時代にあつて、便利になると同時に様々なトラブルに遭遇するリスクも高くなってきている。この状況の中で、IoT・AIに関する基礎知識とトラブル事例をもとにした予防や対処について学び、皆が、家庭や社会で安全安心にインターネットを活用し、豊かで元気な生活を行えるためのネットリテラシーの向上を図る。

講座のご案内

### IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 あなたのお家は大丈夫

IoT時代の進展とともに、家庭内のIoT機器に対するサイバー攻撃が現実味を帯びてきています。IoT・AIの基礎知識が広がる、Wi-Fiの設置とセキュアネットワークの安全管理、SNS/YouTube/ゲームなど、身近なものから活用に関するトラブル、電子で考えるIoT/AI時代の学び方などについて学ぶ講座です。最近での最新事例を元に、ネットでの学習も可能です。IoT/AI時代にあつて、家庭や社会で皆がそれぞれの機器を上手に使いこなし、豊かで元気に生活を行えるためのネットリテラシーの向上を目指します。受講の方々はご自身の、お子さんやお孫さんの保護者の方々など、興味関心のある方、どなたでも気軽に受講できます。多くの皆さんの受講をお待ちしています。

日時：令和元年 8月28日から12月、毎月1回、午後1時～3時  
 場所：富山大学人間発達科学部 515棟 多目的研修室  
 定員：30名(申し込み順、定員になり次第締め切ります)  
 主催：富山インターネット市民塾  
 協力：富山市民生活部消費生活センター、富山県教育委員会生涯学習課・学校教育課

参加費/無料



## 身近な事例をもとに置き薬の内容を検討

消費生活センター、富山県警、総務省の事例などを検討し、内容とカリキュラムを構成

**サイバーセキュリティの置き薬** 2019年 第8巻

### 突如スマホに届いた東京五輪のSMS、それって本物？

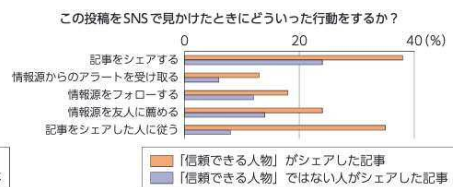
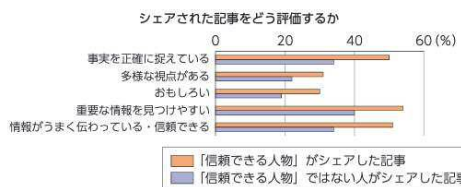
東京五輪のチケット抽選に関係があると見せかけた偽のSMSが、スマートフォンに送られる事例が全国で確認されています。これは、個人の情報を盗む「フィッシング詐欺」の手法と判明しており、今後、東京五輪に關わる様々な手口が出現する可能性もありますので、十分に注意してください。

**東京五輪のチケット抽選に関係があると見せかけた偽のSMSが、スマートフォンに送られる事例が全国で確認されています。**

① 疑いを感じたら、SMSの送信元を確認し、送信元が不明な場合は、送信元をブロックし、SMSを削除してください。

② 正確なサイトを照らし合わせ、送信元を確認し、送信元が不明な場合は、送信元をブロックし、SMSを削除してください。

③ フィッシングサイトに誘導され、個人情報を入力する場合は、入力した内容をリセットし、入力した内容をリセットし、入力した内容をリセットしてください。



(出典) The American Press Institute and The Associated Press-NORC Center for Public Affairs Research (2017) "Who Shared It?: How Americans Decide What News to Trust on Social Media" \*2

総務省令和元年度情報通信白書より引用

## 置き薬の開発内容

### 1) 下記の内容を全5回の講座として実施

- IoT・AI時代に備えるサプリメント
- 家庭のネットを守る安全薬
- コミュニケーション・動画配信のための抗興味薬
- ネットトラブルを見抜く目薬
- IoT・AI時代を元気に生きる常備薬



### 2) 教室での講義体験型授業と同時に、学習内容のネット配信で復習

### 3) 講座の内容は、映像教材として、テキストとともに広く公開し、受講生のみならず、広く市民の皆さんのネットリテラシー向上に役立てる

## ネットトラブルにあわないための置き薬の構成

セミナーのご案内

### ネットトラブルにあわないための置き薬

「あれ？どうして私にメールで請求書が届いたのかしら」  
不安な時、困った時助けになる「ネットトラブル対処置置き薬」  
実際のトラブル事例を元に安全安心なネットの使い方を学びます

コンピュータやインターネットが身近になり、メールやSNSを利用した交流、ホームページを介した情報収集やネットショッピングと、だれでもが、いつでもどこでも手軽に楽しく利用できるようになってきました。その一方で、メールやホームページによる架空請求、個人情報の抜き取りや漏えい、ネットショッピングでの詐欺など、ネットトラブルも増えてきています。そこで、ネットトラブルの事例をもとに予防と対処をまとめた「ネットトラブル対処置置き薬」を開発しました。ネットの安心安全な使い方を学ぶセミナーです。

興味関心のある方はどなたでも参加できます。安全で安心なネット社会で豊かな生活を送るために、多くの皆さんにご参加をお待ちしています。

日程：平成30年9月19日（水）から毎月第3水曜日に開講  
※詳細な日程は要室までダウンロード

時間：午後3時～5時  
場所：富山大学人間発達科学部B5棟多目的研究室  
主催：富山インターネット市民塾

参加費 無料

- 第1回：安全・安心なネット利用のためのサプリメント
- 第2回：SNSなどのネット上での交流に困った時の置き薬
- 第3回：ネットでの買い物に困った時の置き薬
- 第4回：不審な連絡にあった時の置き薬
- 第5回：安全・安心なネット利用を広めるために

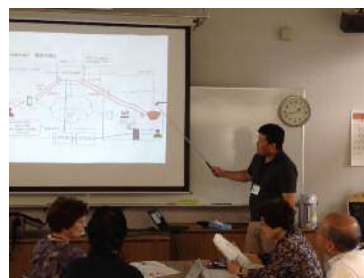
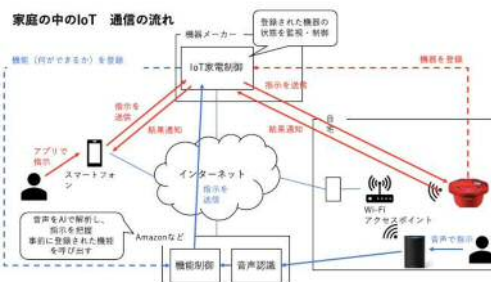
## IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 セミナーの実施

第1回：8月28日（水）：IoT・AI時代に備えるサプリメント  
IoT・AIとは？身近になったIoT・AIに関する基礎知識を学び、  
その利便性について考えました。



## IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 セミナーの実施

第2回：9月18日（水）：家庭のネットを守る安全薬  
Wi-fi環境などホームネットワークの基礎知識を学び、  
家のネットは大丈夫か、各自の家庭の状況を考えながら、  
ネットの安全安心のための健康チェックを行いました。



# IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 セミナーの実施

第3回：10月16日（水）：コミュニケーション・動画  
配信のための抗興味薬

家庭でのネットトラブルにかかるリスク、特に子どもたちが興味を持つSNS、YouTube、ゲーム、TikTokなどに関連するトラブルとその予防法を学びました。

消費生活センターへの相談も増加  
特に、トラブルに遭う小中高生が多い



読売新聞 2019.9.6

視聴時のトラブルにあわないためには

1. 不用意にリンクを開かない
  - ・動画のコメント内のリンクや広告のボタンは要注意
  - ・ソフトのインストールを要求された場合は立ち止まる
2. 請求先に連絡しない
  - ・氏名・住所・電話番号などを知られることは二次、三次被害に繋がってしまう
3. 子供へは、日常的信頼関係の構築
  - ・特に、金銭的要求や脅しなどに対して自己解決しないで必ず相談
  - ・対応を誤ると、上記の二次、三次被害に繋がる危険性を話しておく

# IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 セミナーの実施

第4回：11月20日（水）ネットトラブルを見抜く目薬  
怪しいメール、偽ホームページ、フェイクニュースなど、  
ネット上のトラブル因子を見抜く目をどう鍛えたらいいか、  
その予防と対処を学びました。

トラブル事例：偽サイト

- ・本物そっくりな「偽サイト」
- ・購入しても商品は届かない
- ・連絡先は本物が記載されている  
⇒連絡しても「注文されていない」

被害にあった場合は

- ・消費生活センターや警察に相談
- ・クレジットカードで支払った場合は  
カード会社にも連絡する
- ・IDやパスワードを入力した場合は、  
パスワードの変更を行う



出典：読売新聞 2019年4月19日

トラブル事例：SNSでの勧誘・詐欺トラブル

- ・LINE等を通じて投資やうたう勧誘が増加
- ・仮想通貨、未公開株、外貨など多様  
⇒かつては電話や訪問だった  
手段がSNSに移行している

トラブルが発生した場合は

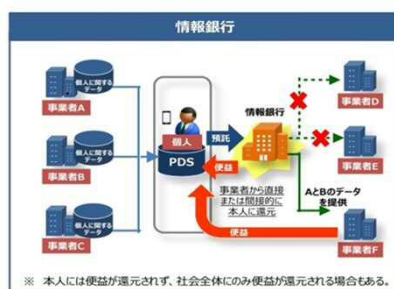
- ・内容に反応しない
- ・方が何らかの対応をした場合は相談  
→消費生活センター



引用：平成30年6月3日 毎日新聞

# IoT・AI時代を元気に生きる置き薬 セミナーの実施

第5回：12月18日（水）IoT・AI時代を元気に生きる常備薬  
最終回は、これまでの復習をしながら日々のネットの健康法を学び、  
皆が豊かで元気な活動が行えるネット社会のありかたを考えました。



「AI、IoT時代におけるデータ活用ワーキンググループ 中間とりまとめの概要」（内閣府IT総合戦略室）より

## 教室の内容は広く公開

<p><b>第1回 IoT・AI時代に備えるサブリメント</b></p> <p>ここでは、私たちの生活がどのように変わってきたか、変わっていくのかを通じ、身近になったIoT・AIに関する基礎知識とその利便性について考えます。■内容1. IoT・AIの未来社会...</p> <p><a href="#">詳しくはこちら</a></p>	<p><b>第2回 家庭のネットを守る安全薬</b></p> <p>Wi-Fi環境などホームネットワークの基礎知識を学び、家のネットは大丈夫か、各自の家庭の状況を考えながら、ネットの安全安心のための健康チェックを行います。■内容1. ホームネット...</p> <p><a href="#">詳しくはこちら</a></p>	
<p><b>第3回 コミュニケーション・動画配信のための抗興味薬</b></p> <p>家庭でのネットトラブルにかかるリスク、特に子どもたちが興味を持つSNS、YouTube、ゲーム、TikTokなどに関連するトラブルとその予防法を学びます。■内容1. 動画配信・視...</p> <p><a href="#">詳しくはこちら</a></p>	<p><b>第4回 ネットトラブルを見抜く目薬</b></p> <p>怪しいメール、偽ホームページ、フェイクニュースなど、ネット上のトラブル因子を見抜く目をどう鍛えたいか、その予防と対処を学びます。■内容1. 情報を読み解く力を高める2. 偽サイト...</p> <p><a href="#">詳しくはこちら</a></p>	

一家に一箱、  
「IoT・AI時代を元気に生きる置き薬」

開発した置き薬の内容は、富山インターネット市民塾の  
ホームページから閲覧可能です。

多くの方々の安全安心なネット利用に役立てていただければ幸いです。

本置き薬は、富山インターネット市民塾が、富山市市民生活部消費生活センター  
教育委員会生涯学習課と協働で開発したものです。また、富山県警察本部  
サイバー犯罪対策課の協力もいただきました。ここに御礼申し上げます。